



「らぼ」とは、コラボレーションの略です。家庭、学校園、地域社会、事業者の協働による教育の相乗効果を期待するという願いが込められています。

## 第2期 岡山市教育大綱が策定されました!

～予測困難なこれからの時代、子どもたちが自他の幸せを創造できる力をつけるために～

岡山市は  
今後5年間で

# 自らの個性を磨き、選択と挑戦を 繰り返すことができる子どもを目指します!

活用力

表現力

育む5つの力  
向上心

社会性

人権尊重の精神

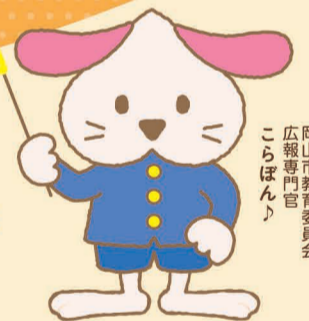
### 教育大綱とは?

市長が教育委員会と協議して策定した、教育の振興に関する施策の目標や根本となる方針のことだよ!

詳しくはHPを  
見てね



これらを目指すための新しい  
取組が始まっているよ。  
今回はその内のひとつ、  
**パソコンの活用**について  
紹介するんだワン!



岡山市教育委員会  
広報専門官  
こらぼん♪

### 主な取組

#### パソコン整備・配備



岡山市立学校における小・中学生全員と教員に、1人1台パソコンを整備・配備しました。

#### 高速ネットワーク



小・中学校に高速LANの整備を行いました。快適にインターネットを使えます。

#### 先生たちの研修



教職員のICTに関するスキルアップのための研修などを実施しています。

こんな学校を目指してるよ

#### 情報を使いこなす力が育つ!



伝えたい内容や目的に応じて、児童生徒がうまく情報を選択・活用できる〔情報活用能力の育成〕を図ります。

#### 授業が魅力的になる!



自ら積極的に取り組む、また周囲とコミュニケーションしながら考えを深める「主体的・対話的で深い学び」ができる授業を行います。

#### 先生がもっと働きやすくなる!



ICTの導入によって、時間やコストの無駄をカット。[教員の働き方改革]を実現し、児童生徒と向き合う時間を確保します。

#### こらぼん♪が解説!

##### ICT

パソコン・タブレットなどを使った情報処理や通信技術のことです。  
ICT=Information and Communication Technology

##### GIGAスクール構想

小・中学生1人につき1台の端末と、高速大容量の通信ネットワークを全国で整備するというプロジェクトです。  
GIGA=Global and Innovation Gateway for All

今年度から1人1台パソコンの  
活用がスタートしたよ!!

あらゆる場所で活用されているICT。これからの時代を生きる子どもたちにとって、ICT機器は鉛筆やノートと並ぶ必需品になるでしょう。  
岡山市では平成30年度に方針を示し、学びの場ICTを積極的に取り入れる「教育の情報化」を進めており、さらにこのたび、国が推進する「GIGAスクール構想」により学校のICT環境が整備されました。  
今回は、令和3年度から実際に始まったパソコンの活用について紹介します。

## ICT活用中! 操南中学校

### 総合的な学習の時間

先生の声

SDGsをはじめ、様々なテーマで講演会・シンポジウムを実施しています。オンライン学習の良いところは、遠隔地にいる講師との意見交換が今まで以上にしやすくなったことですね。また、顔と声が学校全体に発信されるため、発言に責任をもつようになります。自分の考えを事前にうまく言語化しようと努力する生徒が増えましたね。

先生 竹島 潤さん

遠隔地とつながる  
リモートシンポジウム開催

SDGsをテーマにしたオンライン講演会を実施。千葉県の会場と各教室をウェブ会議システムでつなぎ、ゲスト講師からSDGsに関する基礎知識、世界の動向についての講演を聞きました。その後のオンラインでは、各学年の代表生徒がゲスト講師や校長先生とオンラインで対談しながら「中学生にできるSDGsの取組例について話し合いました。」



## ICT活用中! 操山中学校

### 特別活動

先生の声

児童たちは、週に一度くらいの頻度でパソコンを使っています。今はほとんど使って、操作を覚えていく段階です。ログインやカメラの操作など、少しずつみんな慣れてきたようです。「次はいつパソコン使える?」と聞かれるほどです。

先生 桐野 智枝さん


各教室から  
全校生徒に意見を発信!

全校生徒を対象としたウェブ会議システムを使って、岡山県警と連携した「スマホラブル防止教室」を行いました。この学習は、2年前まで体育館で行っていましたが、現在はコロナ対策も兼ねて、パソコンを使って各教室で実施しています。班ごとにまとめた意見を、全学年の教室のパソコンに向けて発信し、意見交換を行いました。

生徒の声

体育館のような広い会場だと、私たち生徒は講師の話をただ聞くだけになります。しかし、校内のICT環境が整ったことで各教室から映像や音声を配信できるようになり、集中して話を聞くようになったと思います。クラスごとの話し合いや発表の場があるので、積極的に意見を言えるようになりました。

先生 美奈さん



## ICT活用中! 津島小学校

### 生活

先生の声

育てているアサガオの成長を、パソコンのカメラ機能で撮影・記録しています。更にその写真に、絵を描けるアプリで好きなイラストやコメントを書き込みます。最終的にはクラスのみんなでその写真を共有。アサガオを栽培する中で得た、気付きや学びなどを、全員で分かち合っています。

先生たちも、勉強中!

ICTの活用法や、アプリの操作方法をまとめたレポートを、先生たちが自主的に作成。教員間で情報共有して、より良い授業を目指しています。

アサガオの成長を  
写真で記録!

先生 美奈さん



## ICT活用中! 政田小学校

### 朝学習

児童の声

朝学習は自分のペースで進められるので「今日はここまでやろう」と目標を決めて取り組んでいます。キーボード操作に慣れてきたので、文字を早く打てるようになって楽しいです。文字を消したり書き直したりするのが簡単なのところが、パソコン授業の良いところだと思います。

先生 美奈さん

朝の時間を使って  
小テスト&ドリル学習

10分間の朝学習で、パソコンを使って小テストやドリル学習を行います。教員は児童に取り組ませたい課題を児童のパソコンに送信。パソコンに表示された問題に回答すると自動採点されるので、間違ったとしても児童たちはすぐに誤りに気付いて直すことができます。このほか、パソコン画面上に直接文字を書いて筆算をするなど、ノート代わりに使うこともできます。




## こうやって、片付けているよ!

これは各クラスに設置してある充電も行うことのできる保管庫です。出席番号を書いたテープを貼るなど、だれのパソコンがすぐに分かるように工夫されています。

これなら他の友達のパソコンと間違えないんだワン!



## ICT活用中! 岡山中央中学校

### 英語

先生の声

今まではずっと下を向いて、ノートや教科書を見ていた生徒たちが、デジタル教科書の画像や映像を使うことで、顔をあげて楽しそうに学習するようになりました。英文の内容を視覚的にも訴えかけることができるので、一層の学習効果が期待できます。

先生 井上 環々さん

デジタル教科書で  
視覚に訴える授業を!

岡山市立の小・中学校ではデジタル教科書を導入しています。デジタル教科書とは、パソコンで使うことのできる教科書のこと。こちらは、各教科ごとに1学期は、教員のパソコンで開いたデジタル教科書を、大型モニターに映し出して授業を進めています。英語の本文の内容とリンクした画像を見せることができ、より深い理解を促すことが期待されています。今後は、生徒それぞれが自分のパソコンで幅広い活用を行っていくことを目指しています。



## ICT活用中! 平福小学校

### 社会


児童の声

ウェブサイトにはたくさんの情報が載っているので、自分の興味があることを見つけやすいし、画像を拡大して細いところまで見られるから調べ学習が楽しいです。あと、パソコンだと資料が散らかることもないので整頓された机で勉強できて気持ちいいです。

先生 美奈さん

ウェブサイトを使って  
もっと詳しく歴史を勉強

授業の前半は教科書で学習し、後半は教員から各自のパソコンに送信されたウェブサイトのURLに児童がアクセス。学習したことを各自に自分で詳しく探究します。この授業では、宮内庁のウェブサイトで正倉院の歴史や宝物について調べました。パソコンを使う授業では、市から派遣されたICT支援員も参加し、パソコン操作のサポートなどを行うこともあります。



## ICT活用中! 幸島小学校

### 国語


先生の声

紙に文字や絵を書く場合、何度も書き直すことは難しいです。しかしパソコンだとその心配がありません。書き直しが簡単なので「もっといろんなものを書いてみたい」という気持ちも芽生えます。言葉で思いを伝えることが苦手な児童の支援ツールとして、パソコンはとても役立っています。

先生 渡邊 裕一校長

パソコンを使って  
物語の読み方を考えよう!

物語に登場する「どんなこと」と「どう」擬音や、声の強弱をつけて読む学習です。自分で書いた「声の強弱を表す線」をパソコン画面に表示し、その線を見ながら音読。物語の場面に合わせて読み分ける力を養います。このほか、パソコンを使って絵本の表紙を作成する場面では、タッチパネルの使い方や、キーボードの打ち方などの技能も身に付けます。



## ココが知りたい! Q&A

Q 学習はすべてパソコンを使って行うの?

A すべての学習をパソコンで行うわけではありません。使うことが目的ではなく、「各教科に必要な力を育成する」ためのツールとして活用していきます。

Q もしもパソコンを壊してしまったら?

A 落としても壊れにくいパソコンを採用し、また、卒業まで大切に扱うように、使い方の決まりなどを最初に子どもに伝え、指導しています。故意による破損や故障の際は、修理などの費用を負担していただく場合があります。

※「学校の1日」という形で活動紹介をしていますので、毎時間パソコンを用いているというわけではありません。  
※個人写真を撮影後、編集して集合写真風になっています。※個人写真撮影時のみ、マスクを外してもらっています。

令和3年度新設

# 情報教育推進室を

## 紹介します!



1人1台パソコン(以下Chromebook)の整備により、今年度から大きくICT環境が変わった学校や先生方をサポートするために、教育研究研修センター内に情報教育推進室を新設しました。今後、情報教育推進室を中心に、岡山市の教育の情報化を進め、子どもたちに情報を適切に、そして効果的に活用する力を育成していきます。

### 主な取組

#### ICT機器等の整備と運用

子どもたちや先生が安心してICTを活用できるように、Chromebookやネットワークの整備、セキュリティの対策などを行っています。



#### 人的な支援

先生がICTを活用した授業を行うために、子どもたちや先生のサポートをするICT支援員や、機器の設定やトラブルなどに対応するICTヘルプデスクを配置しています。



#### 事例等の紹介

岡山市の先生向けのサイトを開設し、Chromebookを活用した授業の事例を公開したり、参考になるホームページを紹介したりしています。



#### 教職員の研修

先生のICT活用指導力が向上するように、Chromebookの活用方法や学校の体制づくりなどについて、様々な教職員研修を実施しています。



## ご意見・ご感想をお聞かせください!

今回の特集で興味をもってお読みいただいた記事やその理由などを、今後取り上げて欲しいテーマと共にお願いします。抽選で図書カード1,000円分を5人の方にプレゼントします。

みなさんの意見を聞きたいんだワン



こらぼvol.15に寄せられた ご意見・ご感想

前回テーマ「地域の学びの拠点」～公民館と放課後子ども教室の紹介～

今回の特集で興味をもった記事は、自分も普通だった福南中学校のあいさつ運動の取組です!南輝小学校で、当時あいさつ運動をしていたので、大人になった今でも、地域の方などにあいさつをしています。小学校で自分から声を出すことの大切さを学びました。

来年1年生になる子どもがいるので、興味深く読みました。放課後子ども教室について知りたいと思いましたが、足守小学校区なのですが、具体的にどのようなことを利用できるかが分かりませんでした。次回は実際利用できるイメージがわくような案内だとありがたいです。しかし、岡山市は地域住民のコミュニティの場が多いということがわかりました。二次元コードがついていたので、早速登録しました。これから色々利用していきたいです。

娘が市内の幼稚園に通っており、こらぼを拝読しました。中でも公民館の活動に興味をもちました。私は他市出身なのですが、子どもの頃、地元の公民館では子どもが参加できるような取組をほとんどしてなかったように思います。今回の記事で、岡山市内の公民館では、子どもが広い年齢層の人たちと交流できる活動があることを知りました。子どもの頃からいろんな年代の人たちと関わりをもつことで、コミュニケーション能力が自然と育っていき、大人になって社会に出てからも、円滑にコミュニケーションのとれる人間に育っていくのだと思います。娘は相手の年齢に関わらず、人とおはなしをすることが好きなので、機会があれば公民館での行事に参加させてみようかと思えます。

本当に様々なユニークな取組がエリアごとであり、楽しく拝見しました。住んでいるエリアは違いますが、可能なら娘や息子にも参加してもらいたい内容のものもありました。灘崎公民館の中高校生対象のボランティアは特に素晴らしいと思いました。「経験を重ねるたびに、子どもたちが自主的に発案、行動するようになっていく姿は感動的です」とありました。子どもたち一人一人が自分に自信をもち、必要とされていると感じていくことで、自己肯定感が育ち、そして一方で地域の方々も元気になるという良い循環が生まれていくのだろうな!今回のコロナ渦の中で、高校生の学習状況分析結果で足りなかったものは、「自立性」だったということを知りました。学校が休校の状況で何をしたらいいのかわからない...という声があちらこちらで聞かれました。自立性は人と人のコミュニケーションから生まれると思います。ぜひ、今回の特集のような地域の学びの拠点からたくさんの子どものコミュニケーションを図ってほしいなと感じました。

今回、子どもが学校から持ち帰った「こらぼ」で改めて公民館の活発な活動を知りました。ちょうど我が家から徒歩5分くらいのところにある南公民館も登場していたので、どんな講座があるのか検索してみましたが、思ったより老若男女問わず幅広く展開されていることに驚きました。土曜日開催の講座でも魅力的な講座を見つけました。残念ながら「満員」とのこと。また機会をみて参加してみたいものです。図書館コーナーでは本の貸し出しもあるとのことなので、また子どもと一緒に遊びに行ってみようと思います。最近ではコロナ禍の下、なかなか自由に出かけられず、ご近所との関わりもなくなってきておりますが、こういった地域の中での多様な関わりをもてる場があったということに気付かせていただき、ありがとうございました。

### 応募方法

〒、住所、氏名、年齢(または学年)、電話番号を明記の上、下記のあて先へご応募ください。

【はがき・封書】〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1  
岡山市教育委員会事務局 教育総務部教育企画総務課 行  
【FAX】086-234-4141 【Eメール】korabo@city.okayama.lg.jp

メール用



応募締切

令和3年11月30日(火)当日消印有効

※お寄せいただいた個人情報は、業務目的以外には使用しません。  
※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

紙面で紹介している教職員や関係者の所属は令和3年8月末現在のものです。

発行・問い合わせ/岡山市教育委員会事務局教育総務部教育企画総務課 ☎086-803-1571  
編集・制作/株式会社 あどりえ、ぼう

LINE@岡山市教育委員会 配信中!

教育委員会の取組や子育てに役立つ情報、学校給食レシピなどを配信しています!ぜひご登録を!

ID検索  
@okayamashi  
korabo

